

# ハイキング部だより

第146回

平成27年(2015年)12月5日(土)～メタセコイア並木とマキノ高原

コース:マキノ駅～高島市マキノ支所～農業公園マキノピックランド～  
メタセコイア並木～マキノ高原～瑞光院～称念寺薬師堂～マキノ駅(約12キロ)

参加者 12名

天気予報では滋賀県北部は曇でしたが、晴で風もなく暖かい絶好のハイキング日和となりました。

土曜日とあって大勢の人達が、カメラやスマホを片手に、ちょうど見頃を迎えたメタセコイアの並木を練り歩いていました。マキノ高原ふもとの温泉さらさ付近で昼食、例によって歌集から5曲を歌いました。行きと違った道を歩いて再びマキノ駅から乗車帰途に着きました。





## 第146ハイキングは下記の計画で実施しました

### ～ メタセコイア並木とマキノ高原 ～

日時：平成27年12月5日(土) 午前10時 JR湖西線「マキノ駅」集合  
(参考に記載した電車に乗ってください)

参考：京都駅発8:15～(新快速)～マキノ駅着9:25(運賃 1,140円)

コース：マキノ駅～高島市マキノ支所～農業公園マキノピックランド～  
メタセコイア並木～マキノ高原～瑞光院～称念寺薬師堂～マキノ駅(約12キロ)

今回は、2.4キロにわたって約500本のメタセコイアが植えられている「メタセコイア並木」で有名な湖西線のマキノを訪ねます。「新・日本街樹百選」に選定されており訪れる人を魅了してくれます。またマキノ高原は、昭和初期にスキー場としてオープン、現在は、オートキャンプ場、グラウンドゴルフ場などを備えたアウトドアスポーツの拠点として四季を通じて訪れる人が多く、頂上付近からは琵琶湖などが見渡せ眺望抜群です。



# 「新・日本の街路樹百景」選定 マキノ高原のメタセコイア並木

関西随一の規模を誇るここマキノ観光栗園を縦貫する町道沢牧野線とこれに続く県道小荒路牧野沢線には、延長2.4kmにわたってメタセコイア約500本が植えられ、マキノ高原、マキノスキー場へのアプローチ道として、高原らしい景観を形成している。

この並木は、1981年に学童農園「マキノ土に学ぶ里」整備事業の一環としてマキノ町果樹生産組合が植えたのがはじまりであるが、組合関係者をはじめとする地域の人々の手により慈しまれ、育まれて、その後さらに県道も協調して植栽され、延長が伸ばされたことから、現在のこの雄大な姿となったものである。

メタセコイアは中国原産、ひのき科メタセコイア属の落葉高木で、和名はアケボノスギ。樹高は35mに及ぶ。最大樹高が115mにも及ぶと云われるセコイアにその姿が似ていることから、メタ（変化した）セコイアと名付けられている。

春の芽吹き・新緑、夏の深緑、秋の紅葉、冬の裸樹・雪花と四季折々に美しい円錐形のメタセコイアの並木とまっすぐに伸びる道路が造りだす対称形の整った景観は、遠景となる野坂山地の山々とも調和し、訪れる人々を魅了してくれる。

1994年11月、読売新聞社の「新・日本の街路樹百景」に選定され、衆目を集めるに至っている。

1997年3月

マキノ町

